

Osaka International School of Kwansei Gakuin 2016-17 evaluation

2016-2017 年 関西学院大阪インターナショナルスクール学校評価

1. 校長コメント

2016 - 2017 年は学校評価において、重要な一年間でした。2018 年には、学校ができて 5 サイクル目の認証時期を迎えます。次期の評価サイクルに向け、2016 年 8 月～2018 年 2 月の間、自己点検を行いました。2017 年 2 月 18～22 日に、WASC と IB からの視察チームの学校訪問を受けました。その後は、5 月ごろに評価、指摘レポートを受領し、2018-2023 年のストラテジック・プランを作成する予定です。

2013-2018 進捗状況

1.1 生徒教育ニーズに適応した ICT の活用

インフラの充実、BYOD、Chromebook などの導入で改善が見られている。
ネットワークへの投資、ICT をさらにカリキュラムへの導入のためのサポート体制は必要である。

1.2 定員充足率改善プランと実施

2016-17 年度中、最高在籍者数を満たしたが競争は激しくなり、これから生徒募集活動をさらに力を入れる必要がある。

1.3 K-12 カリキュラムに連続性を保持するための組織体制

1.4 K-12 教育成果に係る評価システムの導入

3 と 4 について：ManageBac のソフトウェアソリューションにより、改善が見られるが、教員集団全体が統一した使い方をするためこれから努力、研修は必要である。

1.5 法人本部との連携

前回の視察時期（2013 年）より教員集団は、学校法人関西学院の一員としての意識は高くなっている。保護者は必ずしもそうではないようである。

1.6 教員研修について

学校が提供している教員研修体制については満足しているが、こらからの研修機会を充実する必要がある。特に千里キャンパス内での研修の機会の充実が必要である。

2. 2017年5月 WASC 視察：留学生(GFP)用の寮プログラム 報告書

2.1 視察者から WASC への 2017年4月6日視察の報告書

2.2 WASC から学校への結果報告 (2017年7月7日) : 学校の認証は 2018年6月30日までは認められた。

以 上